

令和4年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第3回議事録（要旨）

日 時：6月14日（火）午後6時15分～8時

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 13名

（中里委員長、小餅副委員長、大上委員、高橋委員、牛田委員、田村委員、伊東委員、北山委員、栗原委員、横山委員、島津委員、加藤委員、中野委員）
事務局 2名

1 開会

2 議題

（1）憲法月間記念行事のふり返り【資料1】

・事務局より、憲法月間記念行事のアンケート結果について説明。

【委 員】申込者110名で抽選をして50名を当選にしたにもかかわらず、当日は13名が欠席した。限られた会場、時間、人数で行う以上、キャンセルされる方からは事前に連絡がくるような仕組みや、キャンセル待ちとして繰り上げられるような仕組みを作るべきだったのではないかと感じた。

【委 員】イベントを開催する場合には1～2割来ないことを見越して人数を設定するのが一般的だと思うが、市の立場上、数をしっかり定める必要があるのか。

【事務局】結果論的などころもあるように思うが、イベントでは1割くらい欠席される方がいる。用意した席数分たくさんの方に参加してもらいたいという気持ちは同じなので、そういった仕組みが今後考えられないか検討していきたい。また、もっと広い会場が準備できるよう努める。

【委 員】3時間くらいのイベントで、50～60名が同じ会場にいたので、もっと換気が必要だった。

【委 員】10代、20代の方に参加してもらいたいと思うが、学校向けに案内など、告知はしているか。

【事務局】生徒全員に配布はなかなか難しいが、学校には毎回ちらしやポスターを配布している。若い人たちが参加できるよう促せるとよい。また、市報とセットでSNSでも周知を行っているが、なかなか広がらないのもどかしい部分ではある。

【委 員】PTA連絡会などでも告知できるのではないかと。

【委 員】LINEなどでも周知はしているのか。

【事務局】Twitter、Facebook、LINEを活用している。

【委 員】LINEやTwitterからの申し込みはあったのか。

【事務局】告知はしているが、SNSで情報を見た後に申し込みをするというところまでいかない。

【委 員】告知プラス申し込みフォームに飛ぶような仕組みにはなっていないということか。

【事務局】SNSの告知にURLを貼っているため、クリックすれば申し込みをするた

めの市ホームページサイトに飛ぶようになっているが、LINE等SNSでの申し込みは個人情報の関係で困難である。

【委員】大学の公式アカウントですら、在学生の1割くらいの人しかフォローをしないという現状があるように、公式アカウントではあまり広がりがない。関係者個人が発信するなど、いくつか発信のルートを確認しておくとうい。

【事務局】今回は一般の流通には乗っていない観る機会が少ないような作品なので上映できてよかった。いつも以上に多くの方から申し込みをいただいたが、お断りしてしまった方もいるので、来年度以降で再び、というのもあっても良いのではないかと思う。

【副委員長】監督のお話の時間の調整がうまくいかなかった。

【事務局】映画上映会と監督トークショーはどちらの順番が良かったかという話があるので、今後のイベント開催の際には構成についてももう少し検討できるとよい。

【委員】アンケートで映画の感想については聞いていないのか。

【事務局】アンケート用紙の⑨で全体的な感想として伺っている。

【委員】来場者の連絡先をリストとして保管し、家族や友人と来てもらえるよう案内するのはどうか。二次的な広がりになるのではないか。

【委員】その方法は先着順で募集する際に向いているように思う。抽選だと、せっかくお声がけしたのに、ということにもなりかねない。

【委員】大学のサークルで憲法や平和に関心のあるようなところに周知してもよい。また、市ホームページには憲法月間記念行事のことが載っていないが、過去にどんなことをしたのかなどが見られるようにしてほしい。「憲法月間記念行事」と検索しても出てこない。

【事務局】市内の大学にもポスター等の配布はしているが、どのように活用しているかについては学校によりばらつきがあるのではないかと思う。また、市ホームページの申し込み関係のページは期間外の申し込み等によるトラブルを防止するため、期間限定で公開しており、申し込み期間が終わると消えるようになっている。検討課題として考えさせていただく。

【副委員長】憲法月間記念行事にかかわらず、告知の方法などを今後のイベントに生かせるとよい。

(2) 夏季平和事業について (案)【資料2-1、資料2-2】

・事務局より、夏季平和事業実施案について説明。

【委員】前回会議で絵本の読み聞かせを案として出した。ワークショップという案も挙がっていたが、仕込みが必要であったり、どれくらい的人数が参加するのかなど、照準が合わせにくい。

これまでの傾向から、子どもが出演するから親や友達が観に来る、という流れがあり、人が集まりやすいので子ども団体をお願いするのがよい。絵本でも紙芝居でもいいと思う。「てぶくろ」はウクライナの物語、「へいわってどんなこと」は学校教材になることもある作品、「へいわってすてきだね」は沖縄の子どもが戦没者追悼式で朗読した詩に長谷川義史氏(絵本作家)が絵をつけた作品。

- 【委員】前回会議でワークショップを推していたが、仕組みを整えないと難しいと思うので、あと2か月では不安。アニメや映画の上映会よりも、来た人が参加できるようなイベントが良いが、食体験やワークショップは来年をめがけて、団体への声かけも含めて、進められるとよい。
- 【委員】ワークショップについてだが、「コミュニティ食堂」という給食体験のイベントをコミセンで開催しており、好評で満員になっている。学校でも前を向いたまま給食を食べており、コロナ禍でも食べるイベントはできると思う。参加者は食べながら、読み聞かせや歌い聞かせを聴くということもできるのではないか。
- 【事務局】開催する場所が既に決まっているため、今の場所では飲食ができない。また、食べながら聴くというのは飛沫感染のリスクがあり、ハードルが高いかもしれない。学校の給食でも「黙食」と呼びかけられているため、もう少し様子を見たい。
- 【委員】武蔵野プレイスは飲食可能か。
- 【事務局】水分補給くらいであればよい。
- 【委員】コロナの状況は関係なく飲食不可ということか。
- 【事務局】お見込みのとおり。
- 【委員】コロナ禍でなければ合唱団なども良いと思うが、ただ人が集まればよいというわけでもないのが難しい。
- 【委員】予算や時間のことを考慮すると、読み聞かせは1作品か。
- 【事務局】1作品では時間がもたないように思うので、複数作品の読み聞かせになるのではないか。
- 【委員】子ども向けイベントで配布するアンケートには、子ども向けに作成して、次回どんなことがしたいかを回答してもらおうべき。
- 【副委員長】絵本と紙芝居、どちらも読み聞かせをすることもできるか。
- 【委員】前半、後半に分けて休憩をはさむ必要があると思う。子どもが2時間集中力を保つのは難しい。
- 【事務局】余裕をもったスケジュールで開催したい。1時間くらいが適切かと思う。
- 【委員】絵本や紙芝居の画像を、プロジェクターを活用して同時進行で映し出せないか。スキャンしたものを映す、手元の映像を映すなど、耳と目の両方で情報が入ってくるとよい。
- 【事務局】事前にパワポ等で準備ができるか、検討が必要。
- 【委員】0123 吉祥寺や児童館で、エプロンシアターやこんぺいとうさんの読み聞かせをやっている。本当のプロでなくても、地元で活動している方々を招くのもよい。絵本「てぶくろ」は昔からある題材で有名。
- 【副委員長】絵本と紙芝居の読み聞かせで良いか。
→賛同
- 【事務局】方向性は決まったので、次回更に詳細について決めていきたい。
- 【委員】パネル展などの周知は、市報等で早めにしてもらいたい。憲法月間記念行事作品展示について市報5月1日号に載っていたが、発行されたときには既に

展示が始まっており、連休もあったので観に行くことのできた人は少なかったのではないか。

【事務局】周知の時期については検討したい。吉祥寺駅南北自由通路はなこみちでのパネル展は8月31日でよろしいか。

→賛同。

時間は10:00~16:00くらいの予定。井の頭線改札に近く、人通りが多いためたくさんの人に見てもらえる効果があり、場所としてはとてもよい。

【委員】イベント案を考える際に、前回のアンケート結果を参考資料として出してほしい。

【事務局】対応したい。

(3) 平和の日イベントについて(案)【資料3-1、3-2】

・事務局より、平和の日イベント実施案について説明。

・委員より、提案イベントについて説明。

【副委員長】加藤陽子氏が難しい場合の講師の優先順位を決めたい。

【委員】加藤陽子氏を推しているが、若い人に参加してもらうには知名度の高いサヘル・ローズ氏が良いのではと思っている。最近NHK番組に出演されていた。ご自身の歩んできた体験談に重みがある。また、立教大学教授の長有紀枝氏は、知名度は高くはないが、難民を支援する会難民支援の実践的なことにも関わっている方。「人間の安全保障」という本を出している。

【委員】講演会を開催するにあたって、どのような年代の人に参加してもらいたいかを絞るのもよい。渡部陽一氏は数年前テレビに毎日のように出演されていたので、若者を呼ぶことができるのではないか。

【副委員長】若者目線では、サヘル・ローズ氏はどのような印象か。

【委員】写真を見れば分かる人が多いと思うが、タレントイメージが強く、経歴について詳しい人はあまりいないかもしれない。渡部陽一氏は戦争・平和イメージに繋がりやすい。

【委員】前回会議で伊勢崎賢治氏、井筒高雄氏を推した。お2人は、理想と現実について、参加した人が「もやもやするけど考えなければ」と思えるようなきっかけを与えてくれると思う。

【委員】伊勢崎賢治氏、井筒高雄氏という案にも賛成する。伊勢崎賢治氏は元武蔵野市市長の邑上氏と同級生。武蔵野市には少し縁があるのでは。

【委員】サヘル・ローズ氏はもともとタレントだが、現地に行って支援活動もされている人権活動家。若い人に参加してもらいたいという意見はいつも出るが、非核平和は知名度だけではない大事なことがあると思う。知名度があり、若いにもかかわらず様々な経験をされていて、両方を兼ね備えた方だと思う。体験者というと年配な方が多いが、紛争で両親を殺害されて自分自身の名前も知らないという過去を持つ方で、いつか実現したい。

【副委員長】渡部陽一氏はだいぶ前から候補に出ているような気がする。その後にサヘル・ローズ氏が候補として出てきたのではなかったか。

【委員】渡部陽一氏はこれまでも候補として出てきているが、実際に連絡をしたことはないということか。

【委員】候補は事務局側が中立的な立場で出している案で、会議中に委員から出た意見ではない。事務局からの候補のなかには知らない人もいて、どのような理由で載っているのかは分からずブラックボックス的な部分がある。

【事務局】第一希望を加藤陽子氏として、それ以降の講師の優先順位を決めていただきたい。

→多数決の結果

第二希望：渡部陽一氏 第三希望：サヘル・ローズ氏

【委員】平和の日イベントについて、メインは講演会かもしれないが、派遣団の報告会で「私たちの平和宣言」のように、メッセージ的なものを中高生が共同で創りあげて11月23日に発表するような、表現の仕方ができるのではないか。ぜひ検討してもらいたい。中学生の国語の授業で谷川俊太郎氏の作品を参考に、それぞれの「私は学ぶ～」を表現していたのが、おもしろいと思った。表現の仕方として心に響くものがある。

【委員】表現方法自体を子ども達が考えられるとよい。

【委員】言語化することが大事だと思う、絵や音楽、表現方法は色々あってよい。

【事務局】表現というところ来说うと、平和祈念式典に参加する際に、制服としておそろいのポロシャツを作るという取り組みがあり、ポロシャツには団員が描いた絵を刺しゅうする。子ども達が絵を描くということで平和の表現をやってくれているので、11月の報告会もぜひ楽しみにしていただきたい。

(4) その他

・事務局よりボランティア保険について紹介。

・次回の委員会は、7月5日（火）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会